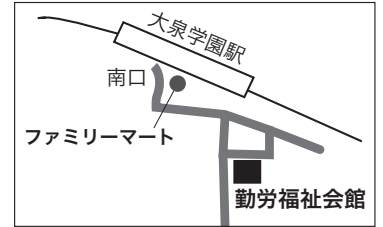


今、なぜ沖縄戦の事実を歪曲するのかわいきよく

歴史教科書の「集団自決」検定修正をめぐって

9月11日(火) 午後7～9時(6時半開場)
大泉勤労福祉会館 集会室
(大泉学園駅 南口下車・3分)
資料代 300円



講演

沖縄戦集団死・「集団自決」歪曲と県民の運動

山口剛史さん (「沖縄戦の歴史歪曲を許さず、沖縄から平和教育をすすめる会」事務局長／琉球大学准教授)

報告

大江健三郎氏・岩波書店「集団自決」裁判の現状 岡本厚さん (岩波書店)

その他

文部科学省の教科書検定によって、来年度から使用される高校の歴史教科書から沖縄戦における「集団自決」に日本軍が関与していたという記述が削除されました。

この検定に対し、沖縄では県議会と県内全 41市町村が削除の撤回を求める決議を採択し、島ぐるみで抗議の声があがっています。けれども、この問題は沖縄だけの問題ではありません。未来のために、真摯に事実を学ぶべき教育の場で、沖縄戦において日本軍が住民をまもらなかったことや、多くの沖縄の人々が「自決」を強いられたことなどが、曖昧にされようとしています。

今私たちは、この検定の持つ意味とねらいを知り、現状を変えていくために何ができるかを考えたいと思います。

*「大江・岩波『集団自決』裁判」…2005年に、沖縄戦当時座間味島守備隊の元隊長及び渡嘉敷島守備隊長の遺族が、住民の「集団自決」は隊長命令によるものではなかったとして、「沖縄ノート」の著者である大江健三郎氏と出版社の岩波書店に対し、出版差し止めと名誉毀損に対する謝罪を求めて裁判を起し、現在大阪地裁で係争中である。



たまには教科書も読んでみるべし!

(申請本) 日本軍に「集団自決」を強いられたり...
→ (検定後) 追いつめられて「集団自決」した人や
(三省堂・日本史 A・B)

(申請本) なかには日本軍に集団自決を強制された人もいた。→ (検定後) なかには集団自決に追い込まれた人々もいた。(清水書院・日本史 B)

賛同人
大島美津子 (元専修大学教授)・大柳武彦 (練馬9条の会事務局長)・小原隆治 (成蹊大学教授)・小室等 (フォークシンガー)・逆井孝仁 (立教大学名誉教授)・坂本義和 (東京大学名誉教授)・里村和秋 (成蹊大学教授)・志多伯泰雄 (練馬沖縄県人会会長)・篠原一 (東京大学名誉教授)・東海林勤 (日本キリスト教団牧師)・鈴木貞美 (国際日本文化研究センター教授)・原朗 (東京大学名誉教授 / 平和を育てる大泉9条の会代表)・阪東宏 (明治大学名誉教授)・本尾良 (市川房枝記念会理事長)・和田あき子 (ロシア文学研究者) 8/20 現在敬称略

主催

(沖縄戦教科書検定問題を考える9.11集会) 実行委員会 連絡先: 柏木 Email:m-kashiwagi@mb.newweb.ne.jp 電話 090-8311-6678